

人間科学部(社会コース)学科祭について

人間科学部

人間科学部(社会コース)では2007年度学科祭特別企画として、下記の概要でみなと横浜の歴史と文化を巡るツアーを行いました。このツアーは、来年度から開講される人間科学部のフィールド実習科目の一つである「横浜学」についての説明を兼ねたものであり、主に社会コースに所属する学生の方々を対象に、フィールド(現場)で横浜を体感してもらうことを目的として実施しました。

記

企画名…ブレ・横浜学

「みなと横浜の歴史と文化」

日時…11月23日(金・祝日)

行程…11時30分 山下公園内船乗場(氷川丸横)

12時00分〜横浜港港内視察(横浜港周遊・約90分、昼食付き)
13時30分〜みなとみらい地区及び隣接する中華街などの周辺地区視察

目的…みなと横浜の特徴である横浜港港内から、マンションやオフィスビル、大規模商業施設などの建設が進むみなとみらい地区を見学します。この臨海地区は日本のウォーターフロント開発の代表例であり、横浜の歴史と文化を知ろううえで重要です。

参加者…教職員6名(横倉節夫、寺沢正晴、八久保厚志、松本安生、平井誠、谷口奈々子)
学生31名

参加者の感想(一部抜粋)

●私はまちづくり行政特論という講義でみなとみらいについてレポートを書いたことがあるのですが、MM21都市計画の魅力を知るには外から(周りから?)ヨコハマというまちを見渡すと、より一層街の良さを感じることが出来るのではないかと思います。素晴らしい経験ができて良かったです。先生方ありがとうございました！



●社会コースは人数が少ないため、交流しやすいと思っていたけど、機会がなかった。なので、このような企画によって交流できたことが嬉しかったです。また、横浜を海から見れたこともとても楽しかったです。横浜の景観が好きなので、いつもと違った横浜が見ることができ楽しかった。

●これからもこの横浜ツアーを続けて欲しいと思います。ただものすごく寒かったのでもう少し暖かい季節がいいなあ…。



●横浜ツアー楽しかったです！船からみるYokohamaは普段とはちがって、異国のようでした。買い物したり遊びに行ったりしている横浜駅から山下公園までのみなとみらい地区は、高速道路があったり、建設中の建物があったり、だだっぴろい空き地だったりして、正直に言うとう横浜の何がいいのかよくわかり

ませんでした。しかし！マリーンルージュからみた大桟橋や赤レンガ倉庫、観覧車、月の形をした建物(宿泊施設?)は、まるでテーマパークのような華やかさがあって夢の中にいるようでした。

●みなとみらいには何度か足を運んだことがありますが、海から見たのは初めてでした。違う角度から見たみなとみらいは、ずっと見ていると飽きないくらい魅力的でした。

●社会コースで、初めて集まることが出来て楽しかったです。景色も、今までとは違う角度から見る事が出来たので新鮮だったし、さまざまな景観が見れました。

●横浜を海から眺める機会など、めったにないのでいつもとは違う視点から横浜を見て・感じる事ができました。授業だけでは語れないことを仲間と語ったり、勉強「だけ」ではなく盛りだくさんで楽しむことができました。

●横浜ツアーではとても貴重な体験をさせていだいて感謝しています。とても楽しかったです！私は地方出身者なので横浜についてま

たひとつ違う角度から横浜を知ることができたような気がします。来年もぜひあったら参加したいです。

まとめ

このように、参加した多くの学生の皆さんにとっては、横浜をまったく異なる視点から見ることのおもしろさを体験してもらえたと思います。机に向かう通常の講義と違った人間科学部社会コースならではの、フィールド実習の醍醐味を存分に味わっていただけたという意味でも今回の企画は大成功であったと思います。最後に後援いただきました神奈川大学人文学会に深く感謝いたします。

(文責…松本安生・人間科学部教員)

